

# コミュニティー スクールだより

6号

尾道市立向東小学校  
発行者 C S担当

平成29年  
川原悦子

2月 2日  
浅岡 亜美

## 社会の会費～租税教室～

1月18日(水)、柿本さんと佐々木さんが来られ、6年生が税金についてお話をして下さいました。6年生は社会科「わたしたちの暮らしと政治」で税金について学びます。社会のあらゆるものに使われている税金。広島県では51種類もの税金があります。この税金を、自分達の身の回りを見渡しただけでも、消防や警察、信号機やごみ収集車など、多くの物に使われていることを実感しました。「もし税金がなかったら？」と考えたことで、税金はなくてはならない大切な社会の会費だということも分かりました。柿本さんは、向東小学校・中学校の卒業生でもあり、以前PTA会長も務められたこともあるなど、本校と関わりの深い方でもあります。そんな地域の方から、税金についてお話が聞くことができ、貴重な経験となりました。

以下は、お礼の文です。

私は、税の授業を受けるまで、税のことをほとんど知りませんでした。今日の授業の最初に見た東日本大震災の映像を見たとき、車が流されていました。でも、税がなければ、地震で壊れた道路や町を直すことができないので、税は大切だと思いました。その他、信号や公民館、小学校、中学校、教科書なども税金を使ってできているのだと初めて知って驚きました。

税金はいっけん、はらうのが大変そうだと思っていたけど、一人一人の払う税金のおかげで、何かあったときはとても助かると思いました。これからもっともっと税のことを勉強したいなあと思いました。ありがとうございました。

みなさんの生活に大切な税金は、みなさんから集めた、いわば「社会の会費」ですよ。



「重～い!!!」  
一億円の重みを実感!  
※見本のお札です。



# 薬物のこわさを知る

1月20日、ライオンズクラブの濱本さん、河辺さんが本校の6年生の児童に薬物乱用防止教室をひらいてくださいました。児童達は昨年度にも学習しており、今年度は保健体育科の「病気とその予防」に関わって、より深く学習できたようで、真剣に聞いていました。映像や各種の薬物・パネル展示なども用意していただき、貴重な経験となりました。

河邊さんと濱本さんはお二方とも向東小学校の卒業生でもあり、地域の方でもあります。お二人から、「地域の宝であるみなさん。みなさんの将来のために、断る勇気を持ち、愛する自分・家族・友人を大切にしてください。」という言葉もいただきました。

ぼくは、今回の薬物乱用防止教室で、5年のときよりも「ダメ。ゼッタイ」のことが心に残りました。違法な薬物を使用したり、間違った目的で薬物を使用したりすることは、一度でも乱用になり、やめられなくなってしまう、脳が破壊されてしまうことを知り、本当に怖いなと思いました。今の社会では、薬物の名前をごまかす人もいるときいて、とてもおどろきました。薬物を乱用した人は、いろいろな事件にまきこまれたり、事故を引き起こしたりするし、その件数はとても多いです。「このクスリを飲むと、疲れが簡単に取れるよ。」などといわれたとしても、「ダメ。ゼッタイ。」を心がけて、自分の意志をしっかりと断る勇気を持ちたいです。

今日の薬物乱用防止教室で知ったことは、薬物の怖さです。たった一回でも、脳が壊され、二度と戻らなくなってしまうということにおどろきました。たとえ、元の生活に戻ったとしても、一生背負っていかなければならないと知りました。薬物を乱用してしまったら、自分はもちろん、家族や友人との関係もくずれてしまうことがわかりました。薬物を乱用することは、自分のこれからの人生を壊していくのと同じことだと思えます。実際に、そういう薬物を売っている人がいることはすごくこわいです。この「薬物乱用」をしてはいけないということも、もっとたくさんの人に知ってもらいたいです。



一見、ラムネのようなお菓子に見えるよね。でも、実はこれは違法な薬物なんですよ！！



みなさんは、大切な「地域の宝」ですよ！

